

演習コースⅠ ソフトウェア工学の基礎 2019年度活動報告

発表者：岡内 裕希
(株式会社feat)

ソフトウェア工学演習コースとは

- ソフトウェア工学の主要技術 + 必須マインド習得
- 臨時会 2 回を含む全 9 回の**徹底的な演習**

- 研究員（23名）：

壁谷 考洋, 増田 知彰, 藤崎 智宏, 前川 大智,
岡野 真也, 井置 一哉, 滝川 翔, 草薙 明彦,
片桐 汐駿, 渡辺 貴之, 岡内 裕希, 米陀 政人,
岩根 正典, 嶋 幸生, 田原 正崇, 島岡 良規,
吉野 正崇, 小田 健人, 邱 章傑, 増田 充,
房野 亮一, 宮村 充弘, 庄野 槇

- 主査：鷺崎 弘宜 ・副主査：猪塚 修

目的

- 演習を通じた主要なソフトウェア工学技法の体系的かつ深い習得
- 個人・組織の開発力強化のための基盤形成
- 仲間作り

演習テーマ

- 第1回 **レビュー** (5/10)
- 第2回 **オブジェクト指向分析設計** (6/14)
- 第3回 **UXデザイン** (7/11~12)
- 第4回 **アーキテクチャ設計** (8/26 臨時会)
- 第5回 **アジャイル開発** (10/11)
- 第6回 **要求工学** (11/15)
- 第7回 **見積** (12/13)
- 第8回 **ソフトウェアテスト** (1/10)
- 第9回 **メトリクス** (2/12 臨時会)

**皆様にこれから、
短時間の演習を体
験いただきます。**

**体験いただくのは、
レビューです。**

- 1 から 1 7 の数字のうち、表示されていない数字を見つけてください。
- 表示されていない数字を見つけられたら、挙手してください。
- その後、答え合わせをします。
- 周りの方と、ふりかえりを行います。

同じ演習を 2 セット実施します
まずは例を実施します
例ではふりかえりを割愛します

例

1	2	3	4
5	6	7	9
10	11	12	13
14	15	16	17

**終了 &
答え合わせ**

**なかつた数字は、
8**

1 セット目

1	5	10	17
16	9	3	7
11	2	8	12
15	6	13	4

**終了 &
答え合わせ**

**なかつた数字は、
14**

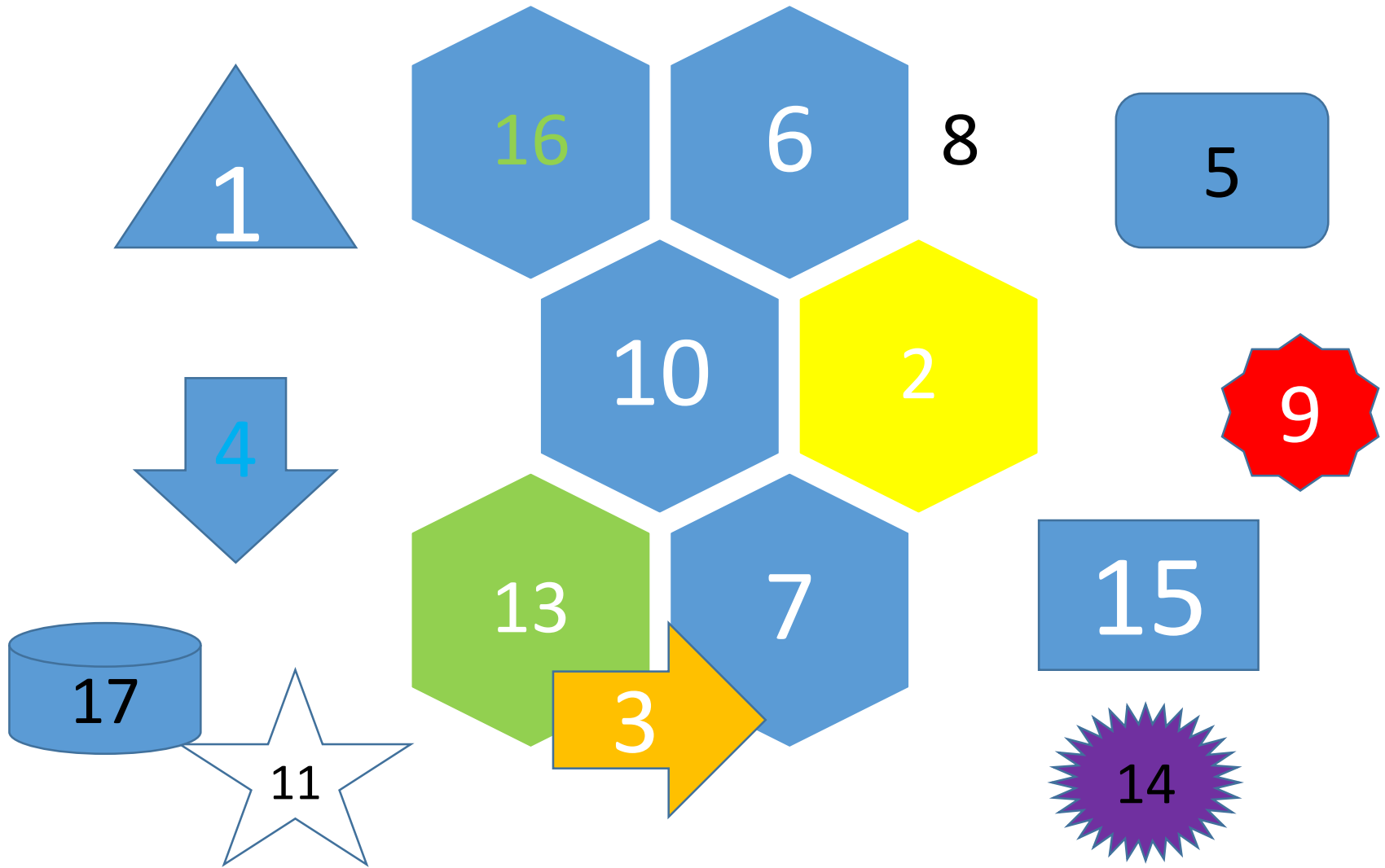
ふりかえり

「例と比べて、

今回は難しかったですか？」

「どんなことが難しかったですか？」

2 セット目



**終了 &
答え合わせ**

**なかつた数字は、
1 2**

ふりかえり

「例、1セット目と比べて、

今回は難しかったですか？」

「どんなことが難しかったですでしょうか？」

この演習で実感してほしいかったこと

**「書式が整っていないと、
レビューの効率が悪くなる」**

例：表形式 数字の昇順

1	2	3	4
5	6	7	9
10	11	12	13
14	15	16	17

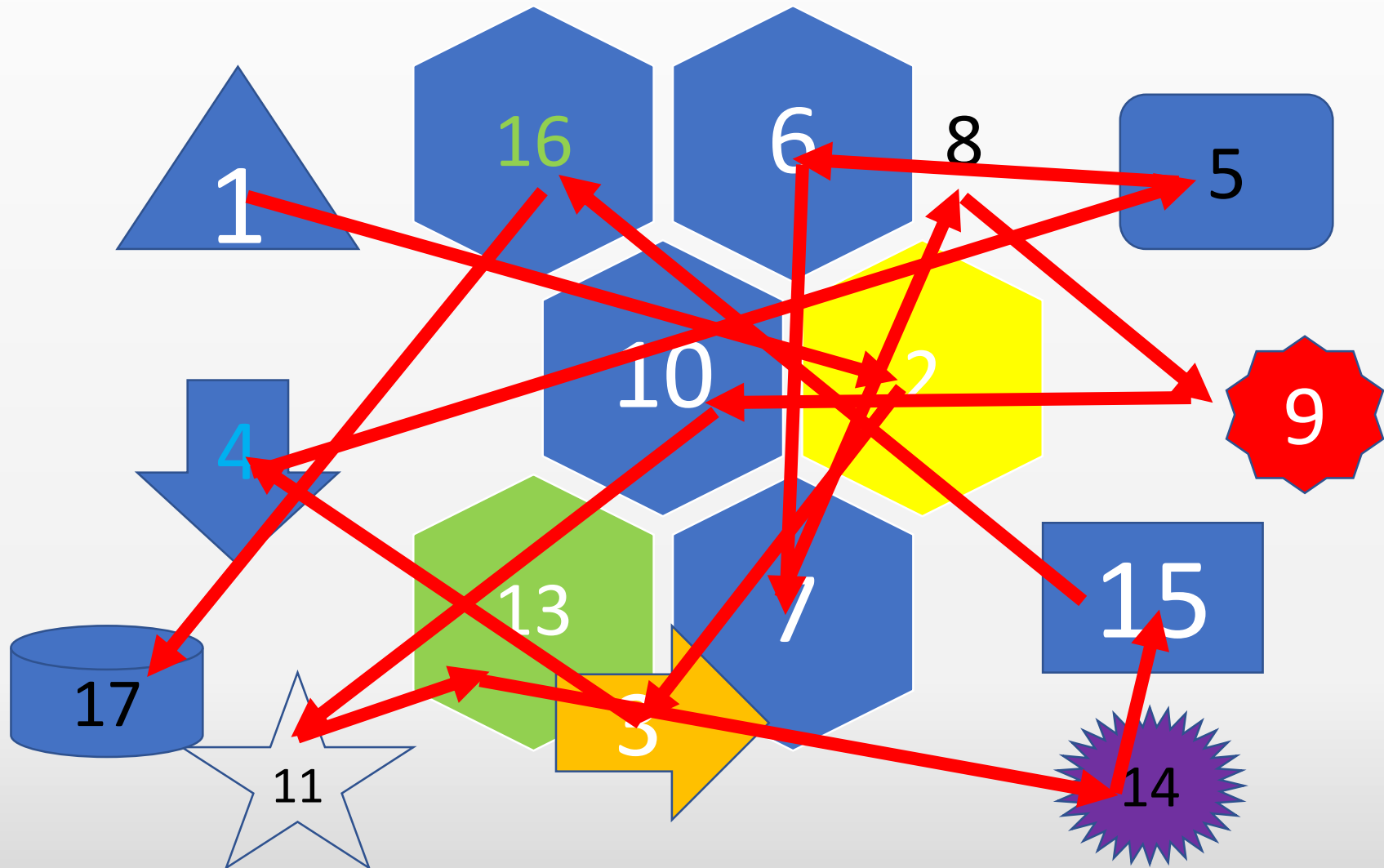
The diagram illustrates a zig-zag path through a 4x4 grid of numbers. The path starts at 1, moves right to 4, then diagonally down-left to 5, then right to 9, then diagonally down-left to 10, then right to 13, then diagonally down-left to 14, and finally right to 17. Red arrows indicate the direction of the path.

例：表形式 数字の配置に規則性はない

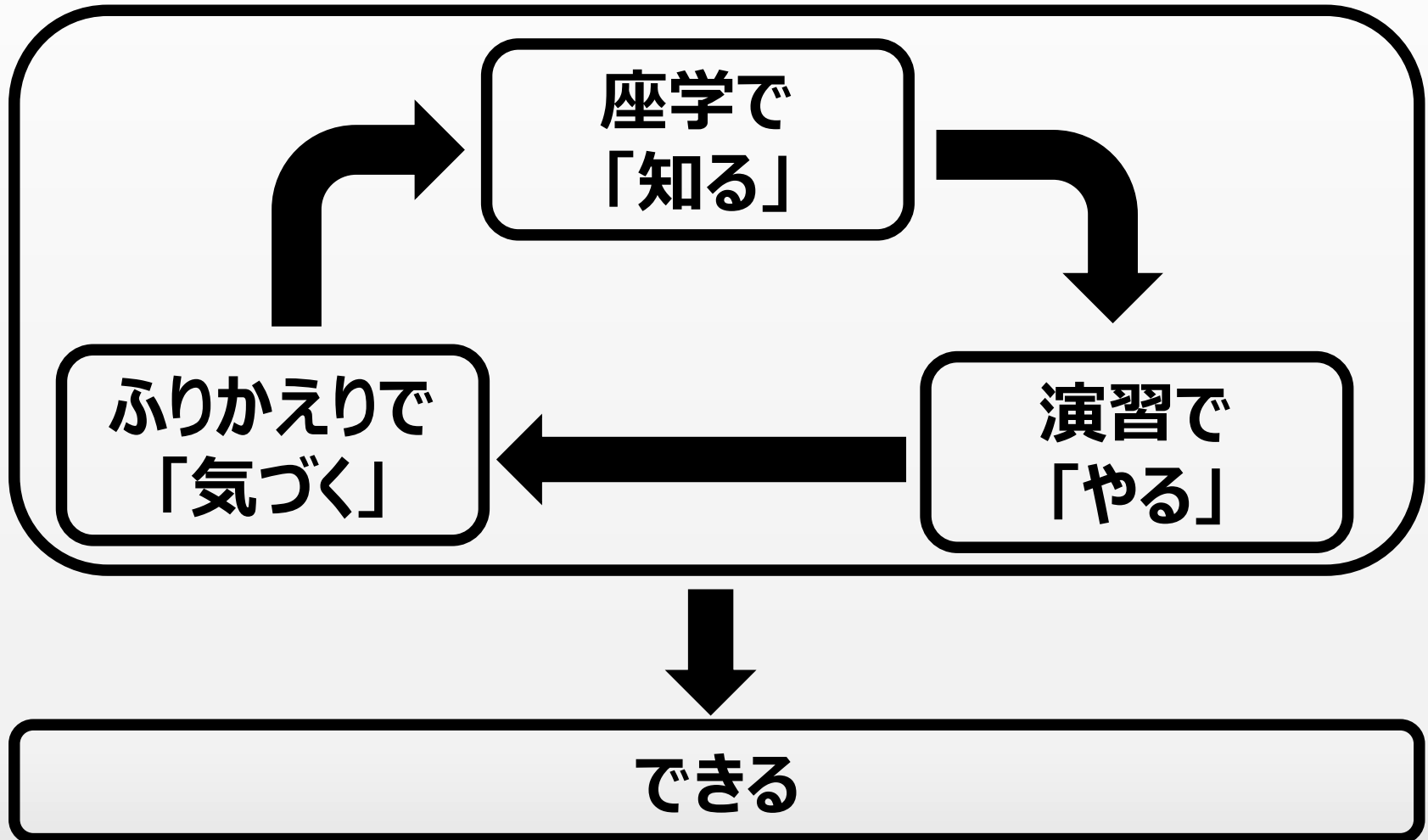
1	5	10	17
16	9	3	7
11	2	8	12
15	6	13	4

The image shows a 4x4 grid of numbers. The top row is highlighted in blue. Red arrows indicate a mapping from the top row to the other rows. The arrows show a complex, non-regular pattern: 1 maps to 16, 11, and 15; 5 maps to 9, 2, and 6; 10 maps to 3, 8, and 13; 17 maps to 7, 12, and 4.

例：形式がない 数字の配置に規則性はない



演習コース I で実践し続けたこと



演習コース I の参加者の声

- 多様性のあるメンバーが、（グループとして）1つの答えを導き出す体験ができた
- 立場の違うメンバーと1年を通して学べたことで、自分とは違う視点を得ることができた。
- 演習でうまくできなかったが、それをふりかえることによって暗黙知の存在に気づき、業務改善のきっかけになった。

**ご清聴 & 演習にお付き合いいただき
ありがとうございました**

「この資料で使用されている会社名（商号）、商品名は、各社の登録商標または商標です。
（また、本文中および図中では、™、®マークは表記しておりません。）」